

令和 4 年

高松市教育委員会 7 月定例会

会 議 録 (抄本)

7月28日(木)開会

7月28日(木)閉会

出席した教育長及び委員			
教 育 長	小 柳 和 代		
委 員	吉 澤 潔		
	葛 西 優 子		
	関 元 盛 夫		
	小 方 朋 子		
	富 家 佐 也 加		
欠席した教育長及び委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	森 田 素 子		
教育局次長 総務課長事務取扱	長 谷 山 隆 義		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	合 田 紀 子		
学校教育課長	山 地 芳 樹		
中央図書館長	石 野 知 津		
こども保育教育課主幹	久 保 優 子		
総務課長補佐	香 川 昭 子		
会議録署名委員	富 家 佐 也 加		
事務局担当書記	別 所 里 美		

【特記事項】 傍聴人1名

議 事 日 程（7月定例会）

日程第1 議案第26号 高松市図書館条例施行規則の一部改正について

日程第2 議案第27号 サンクリスタル高松リニューアル基本構想について

日程第3 報告事項

1 小・中学校訪問の中間まとめ及び幼稚園訪問の報告について

【令和4年7月28日（木） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に富家委員を指名。

日程第1 議案第26号

議案第26号 「高松市中央図書館条例施行規則の一部改正について」

中央図書館長から、高松市図書館条例施行規則の一部改正について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 議案第27号

議案第27号 「サンクリスタル高松リニューアル基本構想について」

中央図書館長から、サンクリスタル高松リニューアル基本構想について説明。

<質疑>

- 委員 デジタル化への対応はとても大切なことで、一人当たりの冊数を増やすという目標がありますが、若い世代の貸出冊数や利用数を増やすためには、デジタル化へ対応や工夫が欠かせないところだと思います。
- 委員 資料の中で、平成16年の台風・高潮被害で閉架書庫の一部が浸水したとありましたが、既に改修はされたのですか。
- 中央図書館長 現在は、高潮が想定される時に、鉄の板が上がってくるような仕組を設置しています。しかし、サンクリスタル高松のある土地は、少し低いところに位置しておりますので、それも含めて考え、もう少し強化をできるところは強化してまいりたいと思っております。
- 委員 特に気になるのが駐車場や公共交通機関についてです。公共交通機関については増便をお願いするという話になっていると伺いましたが、駐車場について、平日の稼働率は、それほど高くないのかもしれませんが、土・日曜日には駐車場に車を停めにくいという話も耳にしますので、例えば、近隣の駐車場と協力し、土・日曜日だけでも駐車場を増やせるようにするなどの検討はされているのでしょうか。
- 中央図書館長 土地の取得については、土地の価格が高価な地域ですので難しいと思いますが、既存の近隣の駐車場等に協力していただけないかということについては、検討してまいりたいと思います。
- 委員 駐車場を新たに整備することは費用面でも難しいと思うのですが、近くの間際の駐車場を土・日曜日だけでも使わせてもらう等の交渉によって、より多くの人を利用できればいいと思います。やはり、子どもを連れて来る場合は、公共交通機関を使うことが難しいと思うので、検討いただければと思います。
- 委員 図書館については、本を借りたり、調べ物をしたりするだけでなく、居場

所づくりという側面もあると思いますので、今も取組をされてるとはと思いますが、学生が自習に使えるようなスペースを拡充することや、人が集まりやすいようなスペースの整備をお願いしたいと思います。

- 委員 今回のリニューアルについては、この計画で進めるとして、もっと長い目で見て、サンクリスタル高松が今の場所にある必要があるのかというところから考え直して、もっと土地が広く安価で、周りに駐車場が配置できるような場所に移転する等も視野に入れるべきだと思います。移転新築というのは、デメリットが費用面だけなので、今回はこの計画で進めるとしても、もっと長期的な計画を立てること始めたほうがいいと思います。

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第3 報告事項

報告事項1 「小・中学校訪問の中間まとめ及び幼稚園訪問の報告について」

学校教育課長及びこども保育教育課主幹から、小・中学校訪問の中間まとめ及び幼稚園訪問の報告について説明。

<質疑>

- 委員 学校・園に訪問した際に、校長先生や園長先生から、働き方改革について、どのような工夫をしているか等の報告を受けます。どの学校・園でも取り組んでいるのだろうと知っているところですが、ニュースなどの報道では、以前と変わらず先生

たちが大変であるということを耳にします。工夫して頑張っていると思うので、今年度、来年度あたりに、どの程度、働き方改革が推進されたのかについて報告をしていただきたいと思います。

○ 学校教育課長 機会をとらえながら報告させていただきたいと思います。

○ 委員 訪問をする中で、働き方改革が進められていると思いましたが、子どもの家庭環境に関わることの大変さ等の難しさも感じました。先日の総合教育会議でもありましたが、ヤングケアラーの問題や子どもの発達障害に関わること、また、保護者が抱える問題という側面もあると感じています。現在、学校では保護者に関しても関わってくださっていますが、家族まるごとを支えないといけない家庭が増加傾向にあると思われ、そこに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の様々な方が関わり、つながっている状況です。これから、先、まだまだ増加傾向にあると思われるので、いろいろな機関が協力して、支えることができれば良いのではないかと思います。

また、植田小学校に行った際に、学校の斜面について防災の面から校長先生が気になさってしまして、大雨など、もしもの時のための備えについて、考えていただきたいと思いました。

○ 教育長 植田小学校に関しては、今年度、現地の調査を行っているところです。その結果に応じて、今後、どのような対策を講じるべきか検討してまいりたいと存じます。

○ 委員 小学校に関しては、新型コロナウイルス対策が、かなり配慮されていると感じました。電子黒板は定着していますが、タブレットの使用が昨年度よりも少ないような気がしました。また、こども園・幼稚園も、新型コロナウイルス対策は十分されていると思いましたが、1歳児・2歳児、2歳児は30人程度となっており、コロナ対策がなかなか難しいと感じました。

また、気になるのは、幼稚園単体の園児数の少なさです。最低でも1学年10人程度はしないと、子どもにとって、あまり環境がよくないのではないかと思います。

幼稚園の園児数を増やすような動きができればいいと思います。

- 教 育 長 近年、保護者が働いている家庭も増えてきており、県内全体で見ても幼稚園に通っている子どもの数が半分を切っており、後は、保育所・こども園に通う傾向が見て取れますが、いかがでしょうか。

- こども保育教育課主幹 適正な人数がいないと子どもの教育にも影響が出てくると思いますので、今、こども保育教育課においては、将来的に「こども園化」した方がよいところ、単体の幼稚園として置いておきたいところ、また、保護者のニーズもあり、こども園の一部としてではなく、幼稚園に行かせたいと考える保護者もいますので、全体的な地域の人口も念頭に置きながら施策の検討を進めているところです。また、幼稚園自体としても、園長会などと協力し合いまして、PRをどのように行っていくのか検討し、昨年度からは広報誌をホームページに掲載したり、ホームページも見やすいように工夫を重ねていっており、PRを進めているところです。

- 委 員 訪問した先で、施設の修理・補修等が必要な場合でも、すぐに対応することが難しい場合があると聞きました。場所によっては子どもたちの安全に直接関わるようなものもあると思いますので、すぐに対応できるような仕組みをつくる必要があるのではないかと思います。

- 教 育 長 校舎の面であったり、施設の面であったりでしょうか。

- 委 員 そうです。修理・補修の申請をしても、計画的に予算を執行しているということもあり、すぐには対応できないという回答だったようで、もう少し、適度に、対応できないかと思いました。

- 教 育 長 大規模に改修している学校もありますし、目の前のここを直してほしいということもあると思いますが、いかがでしょうか。

○ 総務課長　　まず、子どもたちの安全・安心が、一番大事なところであると思いますので、優先順位をつけて考え、基本的には学校から意見を聴取しながら、より良い形にしていきたいと思っています。再度、各学校に対して働きかけ、安全・安心については必ず守られるようにしてまいりたいと思っています。

○ 教 育 長　　施設面の課題等については、短期的に解決していかなければならないことと、中には、長期的に考えていくべきものもあると思いますので、学校・施設と連携しながら、検討してまいりたいと思います。

○ 委 員　　郊外に行けば行くほど、子どもの通学に関して危険度が増すような感じがしています。郊外にある学校周辺の道は、道が細く、車が脱輪しそうなようになるような、非常に狭い道路がありますので、子どもの通学に対するの安全性を考えること、また、通学路の環境整備をするべきと思いました。

また、資料の中に、先生の前で体育座りをして話を聞いている子どもたちの写真がありました。幼稚園の頃は、子どもが骨格形成を行う中でも大切な時期と考えられるので、手洗いと同じように背筋をちゃんと伸ばして椅子に座る、というような働きかけを行うための検討が、今後、必要であると思いました、

○ 教 育 長　　6月議会の際に、体育座りについての質問がありました。小・中学生は、体育の授業で、先生の説明を聞く時に体育座りをして、その後、各々が活動するようなイメージを持っていましたが、幼児の体育座りについてはどうでしょうか。

○ こども保育教育課主幹　　年齢が低ければ低いほど、先生の話近くで聞きたいという思いから、前に近寄っているところがあるので、椅子を使わないこともあるというのが現状です。体育座りの幼児に対する影響を、もう少し研究していきたいと思っています。

議決事項

「高松市図書館条例施行規則の一部改正について」

「サンクリスタル高松リニューアル基本構想について」

持ち回り審議による議決事項

「令和4年7月15日付け人事異動について」